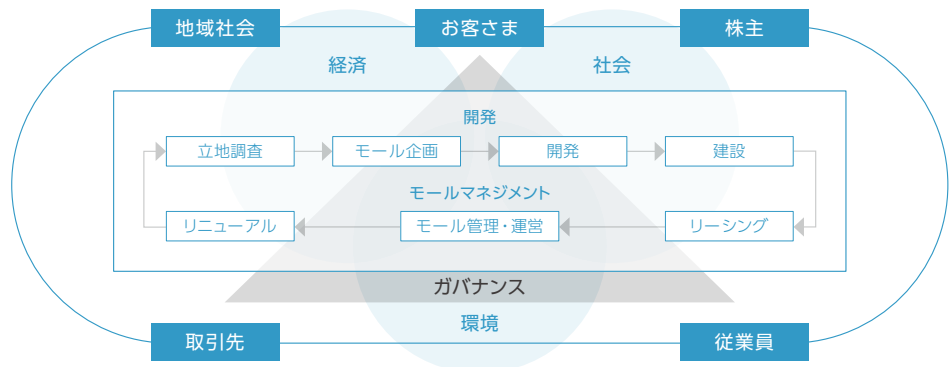


サステナビリティ戦略

サステナビリティに対する社会要請が高まる中、成長戦略にESGを明確に位置付け、重要課題(マテリアリティ)を特定し、経済的・社会的価値の最大化を追求しています。推進体制の強化や新しい評価・表彰制度などを通じ、社内の意識向上を図り、具体的な取り組みを加速しています。

ESG視点に基づく経営の考え方



ESG推進ロードマップ

■ 地域課題の解決に向けて、マテリアリティに基づき、一人ひとりが自ら考え行動していく段階へ

ESG視点に基づく経営を通じて社会的・経済的な価値を創出し、地域社会とともに成長することをめざして、2021年に組織改革を実施しました。マテリアリティのKPI達成に向けて全社で取り組みを加速させる役割を担うESG推進グループを発足したほか、これまで社会貢献や環境活動などを提案・報告する場として機能していたCSR会議は、CSRを含めたESGの課題を解決するESG推進委員会とESG推進分科会に進化。組織体制を強化するとともに従業員一人ひとりの意識を高めるため、年間の個人目標にESGの要素を含めるなど、マテリアリティの社内への浸透を図っています。

マテリアリティ(選定理由と方針など)については(▶ P.18)をご参照ください。

従業員へのESGの浸透策

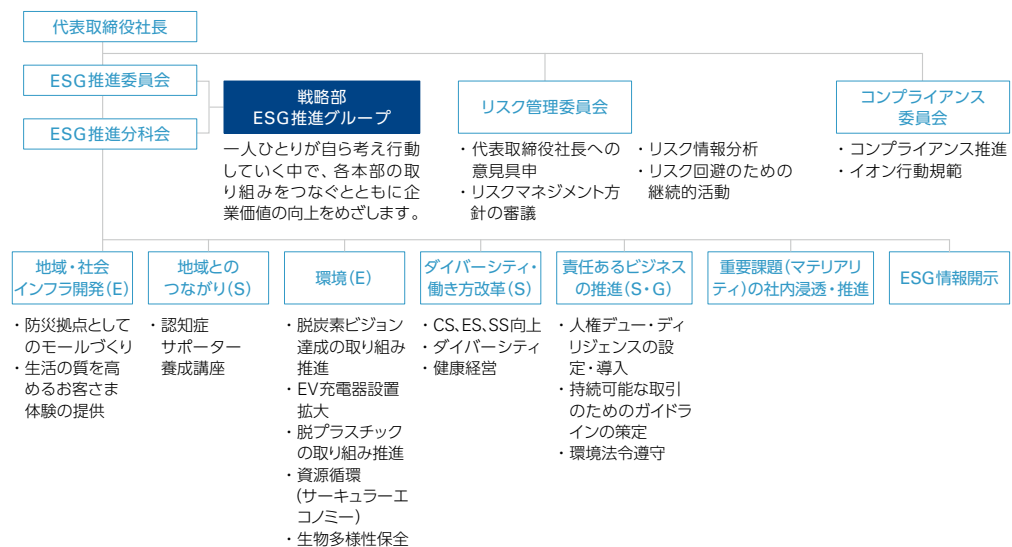
ESG経営を強化する中、2019年マテリアリティおよびKPIを設定し、2030年までの行動指針を定めました。全社で本指針に則って行動し、目標達成をめざすべく、年度内に優秀な功績を残した従業員を表彰する社内制度「ESGアワード」を導入しています。ESG活動の意欲的な実施を促し、取り組みを加速しています。取り組みはESGレポート内でもご紹介しています。

▶ https://www.aeonmall.com/sustainability/esp_report/

ESG推進体制

■ マテリアリティへの取り組みを加速させるため、組織改革によりESG経営を強化

ESG推進委員会は、経営会議の下部組織として、社長の諮問に応じて協議し、その事項について、社長に助言または答申することを目的とします。また、委員会での方針または答申の具体策の検討・議論を行うことを目的に、ESG推進分科会を設置します。委員会での議論を経てESG課題への取り組みについては、すみやかに社内へ浸透させていきます。



■ ESG推進委員会 開催実績

日程	議題 ※代表的な議題のみ抜粋
第6回	2022年4月 責任あるビジネスの推進について
第7回	2022年6月 サークュラーモールの実現について
第8回	2022年8月 2030年のEV充電器の方向性について
第9回	2022年10月 生物多様性について
第10回	2022年12月 資源循環施策進捗について
第11回	2023年2月 サステナブルアプリについて

価値創造戦略

22 中期3カ年経営計画の全体像と進捗

23 2023—2025中期3カ年経営計画

33 財務戦略
～財経担当役員メッセージ～

40 **特集**
社外取締役×証券アナリスト対談

44 DX(デジタルトランスフォーメーション)戦略

46 サステナビリティ戦略

47 人材戦略

60 環境戦略

68 人権への配慮